

# 令和3年度「スマート農業実証プロジェクト」 公募開始！

【公募期間】令和3年1月6日（水）～令和3年2月10日（水） 正午

令和元年度からスタートした「スマート農業実証プロジェクト」（※）。

※ 「スマート農業実証プロジェクト」とは、ロボット、AI、IoTなどのスマート農業技術を実際に生産現場に導入し、農業経営への効果等を明らかにすることを目的としています。

事業実施主体である農研機構が、令和3年度の公募を開始しました。

本年は、農政上の重要課題に係る5つの実証テーマから応募いただきます。

（実証事業は、従前と同様、農業経営の改善にもつながることが必要です。）

<実証テーマ>（以下のテーマに応じた目標等の設定が必要です）

- 1 海外ニーズに合わせた輸出重点品目等の生産・出荷体制の構築
- 2 シェアリング等の新たな農業支援サービスの活用
- 3 需要変化への対応や、生産・消費の連携等のスマート商流の実現
- 4 「新しい生活様式」に対応したリモート化・超省力化
- 5 強靱で持続可能な地域農業の構築

【応募をご検討の皆様へ】

- 本年は、実証テーマに応じて、農業者に加え、各コンソーシアムに参画することが必要となる機関を追加（例：「輸出」のテーマであれば輸出事業者など）することとしています。
- 申請は、電子申請「e-Rad」のみです。「e-Rad」の登録手続きに2週間程度要する場合や、切直前につながりにくくなる場合があります。電子申請の最後に「承認ボタン」を押し忘れ、応募できなかった事例がありますので、ご注意ください。



公募要領等の詳細は、農研機構（実施機関）のサイトをご参照ください。



公募の概要を説明した動画を掲載しています。こちらをご覧ください。

スマ農 公募



お問い合わせ先 <農林水産省> 農林水産技術会議事務局研究推進課  
☎03-3502-7437 E-mail : [smart\\_agri@maff.go.jp](mailto:smart_agri@maff.go.jp)  
<農研機構> スマート農業実証事業推進室  
E-mail : [R3SmartAgri@ml.affrc.go.jp](mailto:R3SmartAgri@ml.affrc.go.jp)